

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 旭化成ケミカルズ株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒712-8633 岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
本票作成	部署名： 水島製造所 環境安全部 環境グループ				
主たる業種	分類コード	16	業種名： 化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業・プラスチック製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	旭化成ケミカルズ株式会社【B地区】		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	②	(以下を含む)			
	③	P S ジャパン株式会社 水島工場		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	④	旭化成ケミカルズ株式会社【C地区】		岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-11	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 27 年度 (1 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 0.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 27 年度)					
	1,486,580 t CO ₂			1,486,580 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	旭化成ケミカルズ株式会社【B地区】		1,486,580 t CO ₂					
	②	(以下を含む)		t CO ₂					
	③	P S ジャパン株式会社 水島工場		t CO ₂					
	④	旭化成ケミカルズ株式会社【C地区】		t CO ₂					
	⑤	旭化成エポキシ株式会社 水島工場		t CO ₂					
	⑤は、2015年5月生産停止		t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

旭化成グループでは、これまで、1990年度比50%の削減を達成し、これを維持する事を目標に活動を行ってきた。
 昨今の環境を鑑み、旭化成グループとして2020年度を目標に、2005年度比10%の削減を新たな目標として設定している。
 水島製造所では現在、水島構造改善に取り組んでおり、一時的に二酸化炭素の排出量が削減となる事から、新規事業の立ち上げまではこの削減レベルを維持する。

【目標削減率達成のための推進体制】

＜本社推進維持体制＞

持ち株会社社長――地球環境対策推進委員会――地球環境対策実行委員会、及びLCA専門委員会
(各委員会の役割)

地球環境対策推進委員会：グループ全体の地球環境対策を審議・決定 等

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
水島製造所	(2014年度実施分) (1)水島構造改善【第1ステップ】後、安定したコンビナートバランスを維持 (2)石化事業基盤強化に向け、水島構造改善【第2ステップ】の実行準備

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
水島製造所	石化事業基盤強化に向け、水島構造改善【第2ステップ】の実行

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	有	「倉敷美しい森」の森林保全活動へボランティア参加（植樹・下草狩り）
その他	有	・宮崎県における「あさひの森」での植林活動 ・静岡県における「あさひ・いのちの森」での自然再生活動

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	有	・宮崎県延岡支社では、水力発電及びバイオマス発電の継続 ・その他の地区での太陽光発電の導入等

【その他特記事項】

＜水島エコ活動重点実施項目＞

- 1) 事務所照明 昼休みの不要時消灯、利用時の照明削減（エリア別消灯）
- 2) お手洗いの照明 不要時の消灯
- 3) パソコン節電対策の実施
- 4) エアコンの設定温度管理
- 5) 複合機、コピー機の原則両面印刷の徹底